



## ぶどう<sup>さんしょう</sup>山椒の産地存続に向けた交流会を開催

10月2日（日）、しみず温泉あさぎりの中庭で、龍谷大学経営学部藤岡ゼミの学生7人とぶどう山椒農家とそのご家族など19人が集まり交流会を開催しました。

令和元年（2019年）から続く「ぶどう山椒の発祥地を未来へつなぐプロジェクト」の一環で、今夏、収穫を手伝った学生の「産地の方や農家ともっと交流したい」「ぶどう山椒の産地存続に向けた自分たちの活動を産地に届けたい」という思いから実現しました。

今まで藤岡ゼミが取り組んできた活動内容を共有し、商品開発した「ぶどう山椒マドレーヌ」を参加者に試食していただきました。

参加者それぞれ産地存続を願っていること、後継者不足や新規就農についてなど活発な交流がなされました。



### 龍谷大学藤岡ゼミ ゼミ長 大津留篤志（産地チーム）

交流会は非常に勉強になり楽しい時間を過ごせた一方で、改めて産地にある多くの課題を実感した会でもありました。

私たちはまだまだ力不足ですが、多くの方に助けをもらいながら、皆さんと一緒にこのぶどう山椒の発祥地存続に取り組んでいきたいと強く思っています。

